

佐久地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の課題	<p>○健康づくり活動が活発で医療体制も充実しているが、高齢化が進み、健康寿命が必ずしも長くないことから、ライフステージに応じた身体活動向上の取組が必要</p> <p>○県内屈指の農産物の産地だが、地域内での物流の仕組みが十分でないことや地元産の認知度が低いことから、観光客向けの地元食材の利用も進んでいない</p> <p>○伐採期を迎えた優良なカラマツ資源が豊富にあるが、カラマツの魅力が十分認識されていないことから、材の利用が拡大していない</p> <p>○軽井沢や立科等に多くの観光客が来訪しているが、高い晴天率による青空や日本三選星名所(南牧村)に選ばれた星空を活かした、佐久地域全体への周遊観光や青空星空等に関する取組が必要</p> <p>○首都圏から良好なアクセス環境にあるが、佐久地域における移住スタイルなどを十分に発信できていないことから、地域全体として移住・二地域居住の取組を促進させる必要がある</p> <p>○国内有数の火山である浅間山について、防災体制の強化と「恵み」の活用が課題</p>
-------	--

H31横断的な課題	H31施策の柱
健康長寿と地消地産の推進を核とした地域づくり	さくっと「ずく出す」プロジェクト
	佐久「地消地産」プロジェクト
	いわずら佐久カラマツ活用プロジェクト
美しい星空と青空をテーマとした観光地域づくり 【観光地域づくり】	星空・宇宙を学び、楽しむプロジェクト
	高い晴天率を活かした青空の下で楽しむプロジェクト
地理的優位性を活かした移住の促進と二地域居住の探求	佐久地域の移住スタイルの探求
	佐久地域の特色ある教育・子育て環境のPR
浅間山の防災体制強化及び活用	防災体制の強化
	固有の資源としての活用

上田地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の課題	<p>平成29年の観光消費額はこれまでのピーク(平成3年)の約6割弱にとどまっていることから、大河ドラマ「真田丸」の効果で上がった知名度、温泉、高原、文化施設等の地域資源を生かした「稼げる観光」への転換が求められている。</p> <p>増加する県外からの学生や外国人留学生のさらなる活躍が求められている。 また、少雨多照の気象条件や標高差を生かした高原野菜やぶどうの産地で、近年、良質なワインの産地としての評価も高い地域だが、農業産出額はピーク時の約半分で、耕作放棄地も多い。</p>
-------	--

H31横断的な課題	H31施策の柱
地域資源の活用・磨き上げによる観光振興 【観光地域づくり】	1 地域資源の磨き上げ・情報発信
	2 ヘルスツーリズム等の推進
	3 インバウンド誘客対応
	4 観光地域のインフラ整備
交流と地消地産や産業振興による地域の活性化	1 多様な人材の定着・交流促進
	2 地消地産の推進
	3 ワイン産業の育成・振興
	4 林業振興と東信カラマツの販路拡大

諏訪地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 諏訪湖のヒシの大量繁茂、貧酸素水域の拡大等への対応 ○ 観光振興、健康づくりの場などへの諏訪湖の利活用促進 ○ 調査研究体制の強化、諏訪湖創生に対する気運の醸成
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域の活力創出 ○ 観光客数減少への対応、特色ある観光素材の広域展開 ○ 八ヶ岳・霧ヶ峰の生態系や景観の保全、利活用

H31横断的な課題	H31施策の柱
1 諏訪湖を活かしたまちづくり (諏訪湖創生ビジョンの推進) 【観光地域づくり】	1 水環境保全
	2 湖辺面活用・まちづくり
	3 調査研究・学びの推進
2 八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域づくりの推進 【観光地域づくり】	1 八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした総合的な振興方策の検討
	2 観光客減少への対応・特色ある観光素材の広域展開
	3 八ヶ岳・霧ヶ峰の生態系や森林資源の保全・利活用

上伊那地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の課題	<p>○二つのアルプスを展望できる優れた景観を有しており、リニア中央新幹線等高速交通網の整備を見据えた交流の拡大、定住の促進が必要</p> <p>○製造業が集積する一方で、品質の良い米をはじめとした多彩な農産物の産地でもあり、これら地域産業のイノベーションとそれを支える人材の確保が必要</p> <p>○地域に根ざしたキャリア教育、信州大学等の高等教育機関やJOCA等の機関を活用した地域づくり人材の育成が必要</p>
-------	---

H31横断的な課題	H31施策の柱
リニア中央新幹線の開業を見据えた地域づくり 【観光地域づくり】	1 二つのアルプスのレベルアップと活用拡大
	2 リニア開業を見据えた交流の拡大と広域観光の推進
	3 リニア中央新幹線とのアクセスの確保
	4 先端技術等を活用した地域活力の創出
上伊那地域の将来を担うひとづくり	1 地域に学び地域を支える人材の育成
	2 地域の産業を担う人材の確保・育成
	3 地域らしさを活かしたグローバル人材の育成

南信州地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の 特長と 課題	<p>【リニア中央新幹線整備に係る諸課題への対応】</p> <p>○開業予定まであと8年と迫る中で、課題への具体的な対応が必要</p>
	<p>【観光産業の振興(観光地域づくり)】</p> <p>①広大な地域に小規模な観光地が点在</p> <p>②地域連携DMOを中心とした広域観光の推進体制の整備</p> <p>③リニア中央新幹線、三遠南信自動車道整備を見据えた広域観光の振興</p>
	<p>【高齢化・人口減少への対応(移住・定住の促進等)】</p> <p>①都市部で南信州の認知度が低いため、移住先の選択肢に含まれない</p> <p>②地元企業の情報や地域で働く魅力の情報発信の不足</p> <p>③若者世代が進学や就職等により地元を離れ、極端に少ない</p>

H31横断的な課題	H31施策の柱
リニア開通を見据えた取組の推進	<p>1 リニアを活かす地域づくりの推進</p> <p>(1) リニアを活かすまちづくり (リニア駅近郊エリアのまちづくり構想等の検討・支援)</p> <p>(2) 地域資源を活用した地域振興 (市田柿、シードル、民俗芸能等)</p>
	<p>2 リニア整備に向けた取組 (各種許認可事務への的確な対応等)</p>
リニア新時代に向けた南信州広域観光の推進 【観光地域づくり】	<p>1 南信州地域連携DMOの策定する「観光戦略」推進への支援</p>
	<p>2 リニア新時代に向けた広域観光の推進</p> <p>(1) 圏域を越えた取組</p> <p>(2) JR飯田線の活用</p> <p>(3) シードルの活用</p> <p>(4) 観光素材の効果的な発信</p>
リニア新時代に向けた南信州への移住・定住の促進	<p>1 地域一体となった地元就職・Uターン就職の促進</p>
	<p>2 「南信州暮らし」応援隊による移住者増に向けた取組 (南信州広域連合及び管内市町村との連携事業)</p>
	<p>3 南信州地域における「新たな働き方・暮らし方」の推進 (起業、農ある暮らし、リゾートテレワーク等)</p>

木曽地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の課題	<p>○平成6年をピークに低落傾向にあった観光客の入込は、平成26年の御嶽山噴火災害で大きく落ち込み、災害前の水準まで戻っていない。</p> <p>○そのため、「木曽ブランド」の再構築や観光関係者の連携による地域資源の発掘・磨き上げを行い、木曽地域を訪れる観光客の満足度を高める取組が必要。</p>
	<p>○御嶽山の観光客・登山者に対する安全性の向上が喫緊の課題であり、山頂ルートを含む登山道全面規制解除に向けた更なる安全対策が必要。</p> <p>○木曽地域は土砂災害の危険性が高いことから、ハード・ソフト両面において地域全体での防災・減災対策が必要。また、関係機関の災害時対応体制の整備や地元住民を含めた防災意識の向上が必要。</p>
	<p>○人口減少下でも住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らし続けられるよう、基本となる医療、福祉、教育、産業、地域交通など生活・経済活動基盤の維持・確保が必要。</p> <p>○広域連携等により行政の効率化を図り、暮らしを支える公共的なサービスを持続的に提供できるようにすることが必要。</p>
	<p>○木曽地域の製材業の製品出荷量は低減傾向にあり、林業の高度化・生産性の向上が課題。</p> <p>○木曽地域の林業・木工関係人材育成拠点化を目指し、地域人材の定着を図るとともに、林業の体制整備と生産性向上、高付加価値化を進め、産業としての林業振興を展開していくことが必要。</p>

H31横断的な課題	H31施策の柱
<p>観光復興 ～御嶽山噴火災害からの復興と住む人も訪れる人も共感する「木曽」らしい観光地域づくりを進める～</p> <p>【観光地域づくり】</p>	<p>1 御嶽山噴火災害からの観光復興</p> <p>2 木曽ブランドの再構築・確立 (1)戦略的な木曽観光地域づくり (2)星空を活用した観光振興 (3)木曽路の眺望景観整備 (4)「歩ける中山道」の整備・魅力発信 (5)観光地へのアクセス道路の整備 (6)御岳県立公園の利活用</p>
<p>地域防災力・減災力の強化 ～地域住民と観光・登山客の安全性を向上させる～</p>	<p>1 御嶽山安全対策 (1)御嶽山安全対策全体のマネジメント (2)ソフト・ハード対策の推進 (3)啓発・教育及び観光対応体制の整備等</p> <p>2 地域全体に係る防災・減災対策 (1)土砂災害対策、地震対策 (2)ライフライン対策 (3)災害時医療体制等整備</p>
<p>新たな広域連携の推進 ～木曽地域に適した広域連携を推進する～</p>	<p>木曽広域自立圏連携ビジョンに基づく取組</p>
<p>「森林・林業と学び」の拠点形成 ～日本の宝「木曽の森林」や林業・木工関係教育機関等の集積を活かす～</p>	<p>1 林業・木材加工業の高付加価値化推進</p> <p>2 林業・木工関係の学びの拠点形成</p>

松本地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」を実現するための空港施設及び空港周辺対策の必要性、観光地づくり、特に滞在型観光の推進の必要性 ○ 牛伏寺断層を含む糸魚川静岡構造線断層帯に起因する巨大地震の発生のおそれ ○ 交通ネットワーク強化のため、特に圏域間を結ぶ道路整備の必要性
-------	--

H31横断的な課題	H31施策の柱
信州まつもと空港の利用促進と空港を活用した観光地域づくり 【観光地域づくり】	1 空港で来県する者の周遊観光対策
	2 空港利用の促進
	3 空港の魅力向上
大規模地震対策の充実・強化	1 災害対応能力の向上
	2 防災意識の向上と耐震化の推進
交通軸の整備による人と物の移動を活かした郷土づくり 【観光地域づくり】	1 交通軸の整備
	2 地域の特色を活かした観光振興
	3 中山間地域の魅力向上

北アルプス地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・最近10年間の観光客数は冬期は約250万人、春～秋は約450万人前後で推移。グリーンシーズン、特に春・秋の誘客への取組が必要 ・高齢化等の社会環境の変化や、多様化する旅行者ニーズへのきめ細かな対応が必要 ・増加傾向にある外国人旅行者の更なる誘客や管内への回遊促進に向けたサービスの検討、提供 ・地域コミュニティや産業・生活環境を維持するため、人口減少への歯止めや人材の確保、若者が地域に就職・定着できる環境や仕組みづくりが課題 ・移住者は増加傾向だが、地域おこし協力隊員の任期終了後の定着も含め、移住希望者や地元出身の若者に選ばれる地域となるための取組が必要 ・元気な高齢者が多い地域であり、人生100年時代を見据え、元気な高齢者が活躍できる仕組みづくりが必要 ・糸魚川・静岡構造線上に位置し、30年以内の震度6弱以上の地震発生確率は、池田町、松川村は22%、大町市は14%と推計 ・急峻な地形、脆弱な地質から大規模な土砂災害が発生しやすい状況にある
-------	---

H31横断的な課題	H31施策の柱
北アルプスの雄大な自然と安曇野の田園風景を活かした観光振興 ～山が生み出す清冽な水と空気によって育まれた北アルプス山麓地域の魅力を世界に発信～ 【観光地域づくり】	1 地域一体となった観光推進体制の構築
	2 サイクルツーリズムの推進
	3 多彩なツーリズムの推進
	4 インバウンド対応の促進
	5 登山道や街並み整備の推進、山岳環境の保全
	6 地域の産業と連携した観光の振興
	7 大系線を活用した広域観光の推進
北アルプス山麓地域ならではの生き生きとした暮らし方・働き方の提案や仕組みづくりによる人口定着・人材確保への挑戦 ～広域的な移住・定住促進と地域人材確保による地域力の維持・向上～	1 若者の定住・定着支援、地域を支える人材の確保
	2 地域おこし協力隊員の定着支援
	3 ライフスタイルの発信、つながり人口の創出・拡大による移住・定住の推進
	4 外国籍住民の増加に対応できる環境整備
	5 高齢者の社会参加の推進
北アルプス山麓地域の防災力の向上 ～県・市町村・地域住民が力を合わせて取り組む大規模災害対策の推進～	1 住民ひとりひとりの防災意識の向上
	2 住民の力を活かした防災力の向上
	3 観光地の災害対策の推進
	4 防災関係機関の連携による体制強化

長野地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の課題	<p>◎しあわせ信州創造プラン2.0長野地域計画 地域重点政策</p> <p>1 地域資源を生かして県経済をけん引する「活力あふれる」長野地域づくり</p> <p>2 「人が集い、文化薫る」魅力ある長野地域づくり</p> <p>3 地域重点政策を支える、地域一体となった「生活基盤の確保」の推進</p>
-------	---

H31横断的な課題	H31施策の柱
農商工観連携した果物を軸とする地域活性化「ながの果物語り」の推進	1 果物を軸とした地域の魅力発信
	2 果物の稼ぐ力を強化 (稼げる技術習得支援)
	3 果物を活かした新商品開発支援による付加価値の向上
	4 果物を活かしたインバウンドの促進
	5 果樹団地の再生整備による高生産性団地の形成
「体験」と「交流」を軸とした「地域の特長を生かした広域観光」の推進 【観光地域づくり】	1 「体験」と「交流」を軸とした広域的な観光振興の推進 ① 「体験」と「交流」を軸としたメニューの磨き上げ ② 「体験」と「交流」を地域で担う人材の養成 ③ 他県や他圏域と連携した広域観光推進
	2 地域が一体となった持続可能な観光振興の推進
	3 「体験」と「交流」を支える基盤の整備

北信地域の横断的な課題

【平成31年度】

地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○若者定着・人口定着 ○豪雪地帯の生活基盤づくり(雪対策、防災・減災、生活の足の確保、保健・医療・福祉の確保) ○グリーンシーズンの観光振興
-------	--

H31横断的な課題	H31施策の柱
若者定着のための雪に強い故郷(ふるさと)暮らしの推進	子育ての支援と子ども・若者の郷土愛の醸成
	若者定着のための就労の場の拡大や移住・交流等の推進
	雪に負けない、雪を楽しむ暮らしづくり
	雪国の生活を支える公共交通・医療等の生活基盤の整備(観光二次交通を含む)
「信越自然郷」等通年型の広域観光の推進 【観光地域づくり】	圏域・県域を越えた稼げる通年型の観光地域づくり
	観光振興のための必要な人材の確保と環境整備